

都市型／最新鋭データセンター

山手線の3駅から徒歩10分圏内という好立地に、免震構造・最新の設備を備え、延床面積20,000㎡の大型データセンター専用ビルです。

最高の立地と堅牢なファシリティの上に、多様化するお客様のニーズにお応えする充実のサービスをラインナップ。お客様のIT基盤の最適化に貢献いたします。



東京第4DCの特長

① アクセス至便なロケーション

- 山手線の内側、最寄駅から徒歩10分圏内に位置し、最寄駅4駅に、地下鉄/JR/私鉄の10路線が乗り入れる絶好のロケーション
- 有事の際にも迅速に駆けつけられる都市型データセンター

② 安心のファシリティと環境性能

- 2つの免震装置を組み合わせたハイブリッド型免震構造
- 東京都都市整備局による「地震に関する地域危険度」(5段階評価)で最も危険性が少ない地域(総合危険度『1』、建物倒壊危険度『1』、火災危険度『1』)
- 地中熱利用、外気冷房、自然光採光、太陽光発電、屋上緑化、人感センサー付きLED照明など、最新の環境技術を駆使した環境配慮型データセンター

③ ニーズに合わせた柔軟なサービス提供

- 企業向けPaaS「TIS Enterprise Ondemand Service」と構内で接続ができ、企業クラウド基盤とシームレスに連携したハイブリッド環境の構築が可能
- きめ細かで高品質な運用サービスから、オープンソースソフトウェアを活用した安価なサービスまで、お客様のニーズにあわせた最適なサービスを組み合わせ提供可能
- データセンター間、インターネット、クラウド接続等多様なネットワークをご提供

『東京第4DC』の特長・主要スペック

1. 安全性

① 地震対策

- <地震> ● 震度6強の地震に対して、ビル構造としての耐震性はもちろん、IT機器を正常稼働させることを目標として設計された免震ビル
- <液状化> ● 強固な地盤(N値60以上)までコンクリート杭を打ち込み、建物を支持
● さらに、万が一の液状化の可能性に備え、コンクリート杭に鋼管を巻き、耐震性を強化
- <津波> ● 内閣府の津波浸水想定(2012年8月29日発表)において、津波による浸水しない地域に立地

② 浸水対策(内水氾濫・河川氾濫)

- 1階のフロアレベルを、品川区ハザードマップで想定される浸水高(50cm未満)より高く設定

2. 信頼性・可用性

① 電気設備

- 受電:特別高圧2系統受電
- 冗長化発電機/燃料備蓄48時間分:N+1冗長構成
- ブロックリタナダント方式/蓄電池(10分以上給電可)

② 空調設備

- 空冷パッケージ方式・冗長化空調設備
- 温度センサーと連動した空調自動制御

③ セキュリティ設備

- フロア単位での入室制限
- 生体認証による入退管理、共連れ防止ゲート

④ 防災設備

- 超高感度火災予兆検知システム
- 環境評価係数の優れた不活性ガス消火設備

⑤ マシンルーム

- 床荷重 1.5t/m²

3. 柔軟性

お客様の個別ご要件にお応えする柔軟性のある設備設計

- 高負荷機器専用エリア(局所空調)
- お客様ラック専用監視カメラ

4. 省エネ/環境配慮

- 外気冷房
- 自然光採光
- LED照明/人感センサー
- 高効率機器
- 太陽光発電

5. 認定資格

- ISMS (ISO/IEC27001)
- PCI DSS
- QMS (ISO9001)
- ITSMS

お問い合わせ先

TIS株式会社
IT基盤技術事業本部 IT基盤技術事業部 IT基盤営業部

EML: ps_info@ml.tis.co.jp